

平成 17 年度 / 第 3 回 理事会 議事録

日 時：平成 17 年 10 月 12 日（水）15 時～17 時 30 分

場 所：電気学会 第 1～3 会議室

出席者：長谷川会長，野嶋会長代理，臼田・高木・松瀬・佐々木 各副会長，滝沢・青嶋・日高・田井 各常務理事，村岡専務理事，井上（代理：新藤氏）・石井・下位・大西 各部門長，森泉 E 準部門長，西谷・前川（代理：秋山氏）・塚本（代理：岩田氏）・松井（代理：川北氏）・作井・島崎・白髭・原田・芦塚（代理：大場氏）各支部長，貞川・佐藤 各監事

オブザーバ：戸谷・小山

事務局：櫛間事務局長，島田事務局長代理，他 6 名

配布資料

平成 17 年度 / 第 2 回理事会 議事録（案）

1. 役員等の選出スケジュールなどの申し合わせ，他
 2. 表彰委員会運営要綱に基づく投票有権者の選定について，他
 3. 第 94 回通常総会 開催日程（案），他
 - 4 - 1 平成 17 年度 上級会員認定について
 - 4 - 2 上級会員選定時に付与する「在会年数の重み」と合格点目安（30 点）のバランスを考慮したケースごとのシミュレーション結果について
 5. IEEJ プロフェッショナル候補者の資格認定について，他
 6. 「寄付の受入れに関する取扱い内規」の制定および平成 18 年度年会費請求時等においてのご寄付について
 7. 全国大会規程（調査・規程 3）の改定について
 8. 「電気電子・情報系 CPD 協議会」設立について
 9. 「環境産業人材育成協議会（仮称）」への電気学会からの推薦者について
 10. 「名刺に学会名を書こう」キャンペーンのご提案
 - 11 - 1 電気規格調査会 規程改訂案と現行規程との比較表
 - 11 - 2 電気規格調査会規程（案）
 12. 事務局長の交代について
 13. 2005 年 7～9 月会員入（退）会の承認について
 14. 平成 17 年度 一般会計 中間決算について（9 月度現在），他
 15. 平成 17 年度 第 2 回 経営戦略会議 議事録（案）
 16. 技術倫理協議会公開シンポジウム「技術倫理に対する学協会の取り組み 現状と今後の課題」
 17. 電気学会特別委員会「技術者倫理検討委員会」の活動状況，他
 18. 平成 17 年度 第 1 回 電気・情報関連学会連絡協議会 議事録（案）
 - 19 - 1 「電気規格調査会 表彰規程」
 - 19 - 2 「電気規格調査会 表彰委員会運営要綱」
 20. 広報担当役員の新設について（B 部門）
 - 21 - 1 支部役員交代について（北陸支部）
 - 21 - 2 関西支部役員交代【ご報告】（関西支部）
 22. 支部監査報告書の書式
 23. メールマガジン活性化について（テスト送信結果報告等）
 24. 世界物理年 秋のイベント概要，他
 25. 事業概況報告
- 平成 18 年電気学会全国大会ポスター

議事概要

開会に先立ち、事務局から定款第 30 条（理事会の定足数等）に基づき、本理事会は出席理事 24 名（代理出席 5 名を含む）で成立条件の定足数（理事現在数の 2 分の 1 以上：13 名以上）が満たされている旨の報告があり、定刻より滝沢総務企画理事の議事進行により議案の審議を開始した。

1. 前回議事録の確認

資料「平成 17 年度 / 第 2 回理事会議事録（案）」に基づき、滝沢総務企画理事から事前に配布してすでに確認頂いているため概略の説明があり、その後の修正箇所等の有無を確認した結果、異議なく承認された。

2. 審議事項

2.1 役員等の選出スケジュールなどの申し合わせ

村岡専務理事から、資料 1「役員等の選出スケジュールなどの申し合わせ、他」に基づき説明があり審議の結果、平成 18 年度役員等の選出スケジュールが承認された。

2.2 表彰委員会運営要綱に基づく投票有権者の選定について

事務局から、資料 2「表彰委員会運営要綱に基づく投票有権者の選定について、他」に基づき、各種賞とこれらを管理・掌握する委員会の確認およびすべての賞の決定投票および功績賞の予選投票者のうち、理事会で選定する若干名の投票有権者について説明があり審議の結果、事務局の提案どおり 25 名の理事会選定投票有権者が承認された。

なお、公正を期するため審議終了後、資料 2 は回収した。

2.3 第 94 回通常総会 開催日程（案）

事務局から、資料 3「第 94 回通常総会 開催日程（案）」に基づき、提案があり審議の結果、開催日程については提案どおり承認された。

また、特別講演については、研究経営役員を中心に取りまとめ頂くこととし、事務局からお送りする過去の全国大会特別講演題目およびこれまで未採択のテーマなどを参考とし、ふさわしい演題・講師の候補があれば、事務局宛に提案頂くこととした。

2.4 上級会員について

(1) 平成 17 年度認定

臼田副会長および事務局から、資料 4 - 1「平成 17 年度 上級会員認定について」に基づき各部門・支部から推薦があった候補者について、上級会員資格審査委員会において厳正に審査した結果、今年度は 89 名が上級会員の認定資格を満たしているとの説明があった。審議の結果、89 名が上級会員として認定された。

(2) 選定時に付与する「在会年数」のポイント

滝沢総務企画理事および事務局から資料 4 - 2「上級会員選定時に付与する「在会年数の重み」と合格点目安（30 点）のバランスを考慮したケースごとのシミュレーション結果について」に基づき、次のとおり提案があった。審議の結果、在会年数の重み付けを導入することとし、0.5 点 / 年のポイントを付与することとした。

- ・60 歳定年退職時等の会員の退会防止に念頭をおくが、安易に上級会員の枠を増やすことの無いよう、付与する場合の「在会年数の重み」と合格点目安（30 点）のバランスを考慮する方向で職種などケースごとのシミュレーションを行った。
- ・具体的には、上級会員の中から学校、研究機関および企業所属の研究者・エンジニアを抽出して上級会員申請時の活動分野毎の点数を一覧にし、4 つの所属・職種別に活動分野毎の平均点を整理した。さらに活動分野毎の平均点数の順位毎にケース 1～4 に配分し一覧に整理した。

- ・総務会議で審議の結果，在会 30 年で合格点目安（30 点）の半分（15 点）を付与する運用がふさわしいとの結論に至った。

2.5 IEEJ プロフェッショナル資格認定

栗原課長から，資料 5「IEEJ プロフェッショナル候補者の資格認定について，他」に基づき，次のとおり説明があり審議の結果，8 月末までに申請があった 25 名が IEEJ プロフェッショナルとして認定された。

なお，審議にあたり早急な事業化の努力が必要との意見があった。

- ・平成 17 年 8 月 31 日の第 2 回登録申請締切までに 26 件の申請があった。（うち 1 名は，その後取下げの連絡あり）
- ・第 2 回 IEEJ プロフェッショナル資格認定審査（平成 17 年 9 月 9 日開催）および第 2 回総務会議（平成 17 年 9 月 14 日開催）において，総務・規程 1 - 10 - 1 に基づき厳正に審査した結果 25 名が IEEJ プロフェッショナルの認定資格を満たしていることを確認した。

2.6 「寄付の受入れに関する内規」の制定および平成 18 年度年会費請求時等にご寄付

滝沢総務企画理事および事務局から，資料 6「寄付の受入れに関する内規の制定および平成 18 年度年会費請求時等にご寄付について」に基づき，次のとおり提案があり審議の結果，基本的な考え方については承認されたが，内規（案）の中に寄付金の使途を起案する機関および議決機関等が規程されていないことや寄付金を既存の基金・資金が含まれる「特別会計」へ繰り入れるのか，「一般会計」へ組み入れるのか等の区分が明確でないとの指摘があり，内規（案）に修正を加えメールで確認頂き，平成 18 年度年会費請求時等に間に合わせることにした。

- ・これまで電気学会は，寄付金に関する規程類を制定していなかったが，総務会議を中心に内規（案）および「ご寄付のお願い」の文案について検討を行った。
- ・使用目的などを選択頂ける内規を制定し，平成 18 年度年会費をお支払い頂くにあたり，併せて会員の皆様から 1 口（5,000 円）以上のご寄付を頂くこととしたい。
- ・寄付金は，新たな事業の展開，社会貢献に向けた更なる活性化に活用していくこととする。

2.7 全国大会規程（調査・規程 3）の改正

佐々木副会長から，資料 7「全国大会規程（調査・規程 3）の改定について」に基づき，説明があり審議の結果，40 回目・50 回目など節目の開催は，東京支部開催となるよう開催地のローテーションを組むことおよび開催地既決定の平成 18 年（東京支部），平成 19 年（北陸支部）の後，平成 20 年以降のローテーションとしては，東京支部開催を 5 年に 1 回，東京支部以外の地域は 10 年に 1 回とする開催順序を規程に表記することで承認された。

2.8 「電気電子・情報系 CPD 協議会設立準備会」への参加

滝沢総務企画理事および事務局から，資料 8「電気電子・情報系 CPD 協議会設立準備会設立について」に基づき，次のとおり説明があり審議の結果，これまでの準備の中で合意した基本方針 5 項目のうち，「3. CPD プログラム対象範囲」の中に明記されている「大学」という字句を，「大学等」と改めることとし，電気学会として正式に参加することが承認された。

- ・電気学会，電子情報通信学会，情報処理学会の 3 学会は，昨年度から共同して電気電子・情報分野の CPD（Continuing Professional Development：技術者能力開発）に関する協議を進めてきた。
- ・3 学会が一層連携して推進にあたるため，「電気電子・情報系 CPD 協議会」を設立し，正式に電気学会も参加することとしたい。
- ・本協議会は，日本工学会の「技術者能力開発協議会」とも連携し，電気電子・情報分野の技術者能力開発に関して，継続教育プログラムおよび能力認定制度の両面から検討を深め，数年後に実施を目指すものであり，JABEE 活動における 3 学会の連携に続くものである。

2.9 「環境産業人材育成協議会（仮称）」への電気学会からの推薦者

栗原課長から資料 9「環境産業人材育成協議会（仮称）」への電気学会からの推薦者」に基づき、学識経験者として田中祀捷先生（早稲田大学）を推薦したいとの提案があり審議の結果、承認された。

2.10 「名刺に学会名を書こう」キャンペーン

滝沢総務企画理事および事務局から、資料 10「名刺に学会名を書こう キャンペーン」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認され、本件については電気学会誌およびホームページに掲載し、広く会員の皆様へ周知するとともに、会員の所属する機関・企業の人事ご担当責任者のご理解を頂くためのレターをホームページに掲載し、会員が必要に応じて利用できるようにすることとした。

- ・電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会で組織する「電気電子・情報系 CPD 協議会 設立準備会」で検討の結果、各種メリットが考えられるため、3 学会が連携して会員のご所属機関の名刺に、例えば「電気学会 正員（または上級会員）」という文字を入れようとのキャンペーンを行うこととなった。
- ・本キャンペーンは、あくまでも会員の自由意志による名刺記載を呼びかけるものである。

2.11 「電気規格調査会規程（規格・規程 1）」の改訂

松瀬副会長から、資料 11 - 1「電気規格調査会 規程改訂案と現行規程との比較表」および資料 11 - 2「電気規格調査会規程（案）」に基づき、主な改訂点について次のとおり説明があり審議の結果、第 23 条（名誉委員）の取り扱いについて意見があり、電気学会会長が委嘱（承認）することとし、その箇所について修正を加えることを条件に承認された。

- ・標準化活動の国際化および IEC と JEC、JIS と JEC の整合性への迅速な対応を図るための改訂である。
- ・役員に専務理事を追加した。
- ・委員会の改廃は報告のみとし、上部組織の承認は不要とした。

2.12 事務局長の交代

村岡専務理事から、資料 12「事務局長の交代について」に基づき説明があり審議の結果、次のとおり交代が承認された。

櫛間良弘（退職・退任） 島田敏男（新任・事務局長代理から昇格）

2.13 会員入（退）会の承認

櫛間事務局長から資料 13「2005 年 7～9 月会員入（退）会の承認について」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認された。

・個人会員入会者数	797 名
・個人会員退会者数	1,347 名
・事業維持会員入会数	2 社（2 口）
・事業維持会員退会数	1 社（16 口）
・事業維持会員口数変更	1 社（1 口減口）

- ・例年、年度末に発生する多数の退会者に注意しておく必要がある。
- ・除籍予定者（約 800 名）へ会長直筆サイン入りの退会慰留のお手紙を差し上げた結果、47 名から復会のお申し出を頂いた。

これにより平成 17 年 9 月末の会員数は個人会員 24,551 名、事業維持会員 479 社(3,331 口)となった。

また、事業維持員からの「退会」もしくは「口数減口」のお申し出（今回報告分）の中で、

次の1社については、下記のとおり引留要請者を決定した。

・計測器センター

島崎関西支部長

3. 報告事項

3.1 平成17年度中間決算

青嶋会計理事から資料14「平成17年度 一般会計 中間決算について(9月度現在),他」に基づき、次のとおり報告があった。

長谷川会長から図書収入(特に教科書)の減少については、電気学会発行教科書と現行教育プログラムには乖離があるとの意見があり、次回経営戦略会議で議論することとした。

- ・会費収入276.8百万円の内訳は、個人会費191.4百万円(前年同月比 6.6百万円/ 514名),事業維持員会費85.4百万円(前年同月比 0.8百万円/ 38口)であり、個人会費については、ここ数年の減少幅に改善の兆しが見られる。また、事業維持員会費についても口数の減少が38口でほぼ前年並みを予想している。
- ・事業収入は、193.1百万円で前年を大幅に下回っており(39.3百万円),前年実績特別分のJST収入12.9百万円を除いても26.4百万円に減収となる。
- ・事業支出は、257.3百万円で前年を下回っており、事業収入と同様に前年実績特別分のJST支出を除き時期的計上のズレ分を考慮すると、ほぼ収入の前期同月比の減少額と同じになる。
- ・部門については、部門大会等の決算が終わっていないため、今後収支は変わるが、定例事業の前年同月比では、以下のような特徴があげられる。
 - 論文誌: B部門の収入・支出の減少
 - 技術報告: B部門の減収, A・D部門の増収
 - 研究調査: A部門の収入・支出の減少, B部門の支出の減少
- ・平成18年度予算(一次案)は、21,067千円の黒字予算となった。

3.2 平成17年度/第2回 経営戦略会議議事録(案)紹介

栗原課長から資料15「平成17年度 第2回 経営戦略会議 議事録(案)」に基づき、各部門における中長期的課題、戦略課題ならびに取り組みに関する意見交換や事業勧告に対する事業収支改善策の報告と審議など、去る9月21日に開催された標記会議の審議内容について、紹介があった。

3.3 「技術倫理協議会」公開シンポジウム

村岡専務理事から資料16「技術倫理協議会公開シンポジウム 技術倫理に対する学協会の取り組み 現状と今後の課題」に基づき、電気学会は本協議会へ参加しており、10月20日開催の公開シンポジウムへ是非出席頂きたい旨の依頼があった。

3.4 「技術者倫理検討委員会」活動状況

佐々木副会長から資料17「電気学会特別委員会「技術者倫理検討委員会」の活動状況,他」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・2年間で会員向けの“より具体的な”判断基準を示した「行動規範」や「事例集」を取りまとめることとし、「(技術者倫理に関する)現状把握」から「判断基準」の策定までを検討していくこととしている。併せて教材の整備や相談窓口の設置など、恒常的な委員会のあり方についても検討していく。
- ・アンケートを実施した結果、100件を超えるご回答があった。
- ・平成18年全国大会で本部企画のシンポジウムを開催する。

3.5 平成17年度 第1回電気・情報関連学会連絡協議会[概要報告]

村岡専務理事から資料18「平成17年度 第1回 電気・情報関連学会連絡協議会 議事録(案)」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・今年度は電気学会が幹事学会となり，第1回委員会を8月22日に開催した。
- ・第1回委員会では，若手・青少年向けの理工系離れへの対応および個人情報保護法への取り組み等について，情報交換を行った。

3.6 電気規格調査会「表彰規程」，「表彰委員会運営要綱」

片瓜政策委員長から資料19-1「電気規格調査会 表彰規程」および資料19-2「表彰委員会運営要綱」に基づき，次のとおり報告があった。

- ・電気規格調査会内に「表彰制度WG」を設置し，制度の検討を行った。
- ・7月に開催された規格委員総会において，「電気規格調査会 表彰規程」および「表彰委員会運営要綱」が承認された。

3.7 B部門広報担当役員の新設

石井B部門長から資料20「広報担当役員の新設について」に基づき，次のとおり報告があった。

- ・B部門の広報機能強化，特にホームページの情報サービス充実強化と国際活動の強化を図る必要性がある一方で，現在ホームページを担当している編修担当役員の負担が一層大きくなる懸念されるため，ホームページ・広報・国際活動窓口を一括して担当する広報担当役員をB部門内に新設する。
- ・設置時期は，平成18年5月とする。
- ・人数は1名とし，電気学会細則第27条（部門役員および委員の定数）における「その他に必要な役員1名」の人数枠を適用し，役員合計12名とする。
- ・任期は，電気学会細則第29条（部門役員および委員の任期）に従い，2年とする。

3.8 支部役員の交代

（1）北陸支部

作井支部長から資料21-1「支部役員の交代について」に基づき，支部役員会において，次のとおり支部役員の交代を承認したとの報告があった。

協議員：辻 寛正氏（関西電力） 鷹野宗人氏（関西電力）
 協議員：梅田勝彦氏（北陸電力） 福井 聡氏（北陸電力）
 協議員：明地 剛氏（北陸電力） 見谷正男氏（北陸電力）

（2）関西支部

島崎支部長から資料21-2「関西支部役員の交代【ご報告】」に基づき，支部役員会において，次のとおり支部役員の交代を承認したとの報告があった。

協議員：廣瀬正幸氏（住友電気工業） 山田雄一氏（住友電気工業）*
 協議員：田口耕造氏（立命館大学） 小矢美晴氏（立命館大学）
 協議員：福田 隆氏（関西電力） 森 望氏（関西電力）

（*：平成17年4月15日付けで現協議員が総務企画幹事となるための協議員の交代）

3.9 支部監査報告書

滝沢総務企画理事から資料22「支部監査報告書の書式」に基づき，次のとおり報告がありました承された。

- ・総務会議およびその下部組織として設置されている「支部事業関係懸案事項検討WG（主査：滝沢昭広総務企画理事）」において検討の結果，電気学会本部で用いられている監査報告書において，「総括」としてまとめられている表形式のものを準用することとし，特に監査規程等を定めることはせず，当面状況を見た上で判断することとした。
- ・必要に応じ，本監査報告書を支部総会資料とすることも考えられる。

3.10 メールマガジン活性化(テスト送信結果報告等)

滝沢総務企画理事および事務局から資料23「メールマガジン活性化について(テスト送信結果報告等)」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・平成17年5月から稼働を開始した新OAシステム「iee-システム」の機能の一つにメールマガジンの発行機能がある。
- ・平成17年7月19日付けで、会員データにメールアドレスをご登録頂いている全会員(14,956名)を対象に、メールマガジン配信のお知らせメールを差し上げた。
- ・その結果、配信エラー：2,410件、配信不要のお申し出：381件があった。
- ・現在、メールマガジンを配信するにあたっての配信ルールや責任部署が決まっておらず、事務局を中心に検討を実施しており方針が決まりしだい、それに則り不定期ではあるが、会員の皆様へメールマガジンにて各種情報を提供していくこととする。

3.11 世界物理年 秋のイベント概要

臼田副会長から資料24「世界物理年 秋のイベント概要、他」に基づき、「究める科学・活かす技術 人と宇宙の未来のために」をテーマに、10月15日(土)、タワーホール船堀(東京都江戸川区)で開催される世界物理年 秋のイベントについて、定員600名に対して参加申し込みが半数に満たない状況にあり、是非参加頂きたい旨の依頼があった。

3.12 事業概況報告

櫛間事務局長から資料25「事業概況報告」に基づき、学会誌・部門誌の掲載ページ数、図書出版、研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて、計画および昨年度実績と乖離があるものを中心に、平成17年4月から平成17年9月まで(学会誌・部門誌のページ数については、平成17年10月まで)の実績報告があった。

3.13 平成18年全国大会ポスター

事務局からお近くの目立つ場所の掲示頂きたいとの依頼があった。

以上、すべての議案の審議を終了し17時30分に閉会した。